

地域活動専門員日誌

チアダンスなど通じ地域で交流



菊池陵太さん ダンスを楽しむ子どもたち



12月25日、岩手のプロバスケットチーム「ビッグブルズ」のチアダンサー二人を招き、綾織地区センターでダンス教室を企画・開催しました。園児や小学生ら30人は、プロのダンスに目を輝かせながら楽しんでいました。指導のお二人からほめてもらい、子どもたちもにっこり。教室後の昼食会では、綾織町更生保護女性会の皆さん手づくりの「ひつつみ」を食べながら交流を深めました。今後も参加者が楽しめる事業を企画していきたいと思ひます。



マッホー！



イベントを楽しむ参加者

赤羽根で雪を満喫しよう 赤羽根スキー場で雪祭り

「大感謝祭」も開催します！

- ◆日時 3月2日(日)、10時～
- ◆内容 スキー試乗会、じゃんけん大会、餅つきなどを予定
- ◆問い合わせ (株)遠野施設管理サービス ☎63-1144

赤羽根スキー場の誘客イベント「雪祭り」(株)遠野施設管理サービス主催)は1月26日、同所で初開催され、家族連れのスキー客などでにぎわいました。イベントでは、雪の中から目印を探し出す「宝探しゲーム」や、豪華賞品がもらえるじゃんけん大会などを開催。臼沢悠君(5歳)＝早瀬町＝は「宝を見つけられてうれしかった。ソリ滑りも楽しいです」と満喫していました。同スキー場は今シーズン、3月9日(日)まで営業する予定です。

そーらー！



3

1_鱒沢神楽保存会による「龍殿舞」 2_鷹鳥屋神楽保存会による「岩戸開舞」。息のあった群舞を披露 3_湧水神楽保存会による「膳舞」。一生懸命な舞に盛んな声援が送られていました



市内の神々が演舞を披露 水光園で神楽共演会開催

第21回遠野郷神楽共演会(遠野郷神楽保存団体推進協議会主催、菊池孝二会長)は1月26日、たかむろ水光園芸能館で開催されました。来場した200人は軽快な太鼓と笛の音にあわせて繰り広げられる、豪快な舞を楽しみました。過去最多の市内12団体が出演し、舞台を清める「鳥舞」や大漁を祈願する「恵比寿舞」のほか、神話を基にした「天照五穀舞」など16演目を披露。技が決まるたびに会場からは大きな拍手が送られました。菊池会長は「開催時は参加団体が少なかったが、各団体の理解と協力がありここまで活性化できた。今後も連携を取り合いながら続けていきたい」と力を込めました。

家族とともに長寿を祝う 富山七郎さんが100歳に

六日町の富山七郎さんの100歳を祝う会は1月8日、遠野長寿の郷で開催され、親族や施設関係者ら40人は七郎さんの長寿を祝いました。本田市市長が花束と記念品を手渡すと七郎さんはにっこり。大阪府に住む長男の弘毅さんが「どんなときも優しく育ててくれてありがとう」とお祝いの言葉を述べたほか、別の施設で過ごしている妻のツエさん(93歳)も駆け付け、一緒に祝福しました。七郎さんは大正3年に六日町に生まれ、昭和16年にツエさんと結婚。製材所などに勤務しながら2男3女を育て、現在は遠野長寿の郷で穏やかに過ごしています。



本田市市長から記念品を受け取る七郎さん

SL 運転応援企画！

SL 銀河模型を公開！

平成25年11月、鉄道フェスタで公開された様子



4月以降運転が予定されているJR釜石線「SL 銀河」にあわせ、鉄道模型大展示会を開催します！ 模型は「岩手鉄道模型仲間の会」が作った150分の1スケールの模型で、細部までこだわって作られており、見応えがあります。このほか各種ステージイベントやパネル展示、SLが走っていたころの釜石線の様子を映したビデオ上映など盛りだくさんの内容です！ 入場は無料！ ぜひ、お越しください！
◆期間 2月22日(土)～24日(月)10～18時(最終日15時まで)
◆場所 あえりあ遠野中ホール



カンナガラ作りに挑戦！ 青笹町で体験教室を開催

しし踊りに使われる「カンナガラ」の製作を体験する教室(青笹町地域づくり連絡協議会主催)は1月25日、青笹町しし踊り保存会に長年カンナガラを提供している丸順工務店(同町、菊池一彦社長)で行われました。カンナガラは、ドロノキの製材を薄く削って作るもので、藤原幸平君と奥寺汰一君(いずれも遠野東中2年)が挑戦。二人は使い慣れないカンナに苦戦しながらも回を重ねるごとに上達し、郷土の文化を肌で学びました。

1_作ったカンナガラを持って記念撮影 2_最初はぎこちなかったカンナさばきも、回を重ねるにつれ上達 3_「シュツ、シュツ」と小気味よい音が響いていました



2

3



さらなるレベルアップを誓う選抜メンバー

全国で活躍するぞ！

小中高でレベルアップを スーパートレセンが開校

市内サッカー指導者が連携し、遠野の小中高校のサッカー選手を育成する「遠野スーパートレセン」(市サッカー協会など主催)は1月7日、稲荷下運動場で開校されました。同講習会には、市内の小中高生から選抜された40人が参加。「判断力」をテーマに、選手はボールを持っていない時の動きや次の展開をイメージしたプレーを中心に学んでいます。2016年に本市で開催される国体サッカー16歳以下の県選抜の代表に期待のかかる太田竜雅君(遠野中1)は「高校生から多くのことを学び、全国で活躍できる選手になりたい」と決意を新たにしました。